

## 平成 24 年度 公募研究助成の審査結果について

公益社団法人日本透析医会では、公益事業の一環として、適正な人工透析療法の普及、技術の向上及び腎不全医療（特に透析医療）を推進するための学術研究に対し、助成を実施しております。

平成 24 年度の公募研究助成については、9 月 21 日までの募集に多数の応募をいただき、10 月 26 日開催の研究助成審査委員会において、厳正、慎重に審査した結果、以下の 16 課題に対し総額 23,700,000 円を助成することといたしました。

- 1. 透析症例に対する Helicobacter pylori 除菌療法によるグレリンに関連した予後改善効果の検討**  
浜松医科大学 第一内科  
杉本 光繁 2,000,000 円
- 2. 女性透析患者におけるファブリー病のスクリーニング**  
新潟大学大学院医歯学総合研究科 腎医学医療センター  
丸山 弘樹 1,500,000 円
- 3. 血管内皮細胞内インスリンシグナルを用いた劣化腹膜治療法の開発**  
徳島大学大学院ヘルスバイオサイエンス研究部（腎臓内科）  
美馬 晶 2,000,000 円
- 4. オンライン血液濾過透析の効率性の評価、および合併症の抑制効果の検討**  
東京女子医科大学 血液浄化療法科  
岡野 一祥 1,000,000 円
- 5. microRNA の虚血・小胞体ストレス応答制御機能と腎不全における病因論の解明**  
東京大学医学部附属病院 腎臓・内分泌内科  
稲城 玲子 3,000,000 円
- 6. 維持血液透析患者における食事調査方法の妥当性、ナトリウム摂取量と生体指標の関係**  
久留米大学医学部 内科学講座腎臓内科部門  
小池 清美 1,500,000 円
- 7. 腹膜透析療法における補体の役割の解明について**  
名古屋大学大学院医学系研究科 腎臓内科・腎不全総合治療学  
水野 正司 1,000,000 円

8. エマルジョン化治療用遺伝子経皮デリバリー技術による内シャント狭窄の新規遺伝子治療法の開発

自治医科大学 腎臓内科  
森下 義幸 1,500,000 円

9. 腹膜保護と透析効率増強効果を併せ持つ腹膜透析用ナノ粒子の開発

筑波技術大学 保健科学部附属東西医学統合医療センター  
平山 暁 2,000,000 円

10. 細胞老化制御による血管石灰化の進展抑制機構の解明

福岡歯科大学 総合医学講座内科学分野  
山田 俊輔 1,000,000 円

11. 血液透析システムにおける透析液品質の維持向上に関する細菌叢の生理学的研究

越谷大袋クリニック 内科  
大藪 英一 1,400,000 円

12. AESCULON(非侵襲心拍出量モニター)を用いた脳心血管疾患合併維持透析患者の透析条件と血圧維持療法の適正評価

国立循環器病研究センター  
吉原 史樹 800,000 円

13. エンドトキシン捕捉フィルターに捕捉される微粒子に関する研究ー多人数用透析装置における過酢酸封入洗浄の影響ー

東京理科大学大学院 工学研究科  
今井 基之 1,000,000 円

14. マウス腹膜線維症モデルにおける HDAC 阻害剤の線維化抑制効果

長崎大学大学院 医歯薬総合研究科  
井生久美子 1,000,000 円

15. 腹膜中皮細胞障害に関与する遺伝子の網羅的解析と機序の解明

広島大学病院 腎臓内科  
正木 崇生 1,000,000 円

16. 臨床応用を見据えたヒト iPS 細胞から尿細管細胞への分化誘導法の確立

慶應義塾大学病院 救急科・腎臓内科  
本間康一郎 2,000,000 円